

第31回群馬県理学療法士学会

教育講演 脊椎疾患に対する理学療法の考え方



講師：桐蔭横浜大学大学院 スポーツ科学研究科 教授
成田 崇矢

運動器疾患の臨床推論を展開するためには、病態（症状発生メカニズム）の把握、組織学的・機能的・力学的評価に対する知識、技術、経験が必要です。また、症状改善メカニズムに対する理解も必要とされます。知識だけでなくセラピストの技能、経験が求められるため、習熟に時間を要します。

本セッションは、脊椎疾患に対する理学療法の考え方について評価から介入までの一連の流れを実例を通じて学び、臨床推論思考の重要性について解説します。

<講師紹介>

—学歴—

H9 群馬大学医療技術短期学部理学療法学科 卒業

H14 群馬大学医学部保健学科理学療法専攻 卒業

H22 筑波大学人間総合科学研究科博士前期課程（体育学） 修了

H25 早稲田大学スポーツ科学研究科博士後期課程（スポーツ科学） 修了

—職歴—

H9.4～H12.3 高德会 上牧温泉病院 理学療法士

H12.4～H20.3 龍邦会 東前橋整形外科 理学療法士

H20.4～H21.3 つくば国際大学医療保健学部理学療法学科 助手

H21.4～H23.3 健康科学大学健康科学部理学療法学科 助教

H23.4～H25.3 健康科学大学健康科学部理学療法学科 講師

H25.4～H27.3 健康科学大学健康科学部理学療法学科 准教授

H27.4～H31.3 健康科学大学健康科学部理学療法学科 教授

H31.4～ 現職

—主なトレーナー実績—

2009 (ローマ), 2011 (上海), 2013 (バルセロナ), 2017 (ブダペスト), 2019 (韓国)
世界水泳選手権大会 飛込競技日本代表トレーナー
2016 リオオリンピック 飛込競技日本代表 トレーナー帯同
2016~2018 WJBL 山梨クィーンビーズ アスレティックトレーナー
2021 東京オリンピック 飛込競技日本代表 トレーナー帯同 他

—資格—

理学療法士、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー (JSPO-AT)、全米公認ストレングス
&コンディショニングスペシャリスト (NSCA-CSCS)

—委員ほか—

(公財) 日本水泳連盟医事、科学委員、
(公財) 日本水泳連盟医科学委員会連携組織 日本水泳トレーナー会議運営委員
(公財) 日本オリンピック委員会 強化スタッフ (医・科学スタッフ)
(一社) アクティブライフ・マネージメント代表理事

—所属学会—

日本腰痛学会、日本整形外科スポーツ医学会、日本臨床スポーツ医学会、日本徒手理学療法学会
(評議員、編集委員)、日本アスレティックトレーニング学会、日本スポーツ理学療法学会 (評議員)

—著書—

「成田崇矢の臨床 腰痛：運動と医学の出版社」 「脊柱理学療法マネジメント：メジカルビュー社」
「腰痛のプライマリ・ケア：文光堂」 「秒速で体が柔らかくなる 5秒筋膜ゆらし：冬樹舎」
「腰痛がスーと消える：小学館」 「肩こりを治せば、老いも止められる：高橋書店」 など多数。